日刊（昭和七年六月十五日第三種郵便物認可）　THE JYOBANSHIMBUN　昭和十一年六月十一日【木曜日】　第五百四十五號【一】

夕刊

常磐時報

六月十日
發行兼編輯印刷人　伊藤勝次
福島縣平南町五九
發行所　常磐新聞社
日曜祭日翌日休刊
一部二錢　一ヶ月五十錢
廣告料　一行　五十錢

◆支局所在地◆
平町南町二一番地
四倉町停車場通ト
湯本町新校舍前
植田町喜町

常磐時評

生き甲斐ある生活。

人生飽食美衣玉樓をほゝいまゝにし美女を側近に侍らせそれで滿足であらうか生き甲斐のある生活の一部としては、無論包括されるであらうが、從的欲求即ち副産視すべき要求と云はねばならぬ、生甲斐ある生活者、に例を擧げれば大臣高位の人程、時間を惜しむ而して一日を單位としないで一時間を單位として一日に大部の仕事と奔走に席の溫まる暇もない狀態は、一般周知の事實である、地方的に見ても町村長は一番忙がしき人である、又立場のある人程時間觀念が最も強く寸時と謂ひ共忽せにしない比較の例を擧げれば、官公吏、會社員の眞の事務的一日の量は八時間位が身体を勤め所に据へてゐるが、その事務的分量を眞劍に處理するとすれば約二時間位で出來る（これは一般人が常識的に見てる）して見れば一人で四人分、眞劍に掛れば出來ると云ふ事になる最も貴重な時間を働き盛りの男子が一日間を四分の三を空費すると云ふ事になる、緊張を缺いた一日を時計と睨み合ひするなどは余りに勿体ない事である、偉い立場の人は時間を少しでも空費しない爲めに一日を有利に時間割するから一日を三日分位に活用する、この方法で行くと普通俸給生活者は一日の四分の一を働き三を捨て社會的に立場のある人は一日に三日間の仕事をすると云ふ事になる、前者の樂する人、怠ける人はそこに何か德があるかと見れば、何物もない只、太陽の如く夜は引込んで晝間は出てくる平々凡々として日時を消費するのみだ、愛に人生として生き甲斐のある何ものかの暗示がある筈だ。目標を何に置かうとも時間を有利に使い精一ぱいの仕事をすることが生き甲斐のある生活ではなからうか。

小名濱地方を中心に
陸軍自動車操作演習
郡下一帶に亘り來月擧行
●●●打合せに將校來小

陸軍自動車學校では來月廿五日より一週間に亘つて小名濱町に宿營郡下一帶で操作演習を行ふべく、去九日同校橋本少尉以下、下士官二名が來小、種々打合中であるが、今回は將校十名下士官四十名以下二百四十名合計三百二十名乘用車五十台トラック三十台、オートバイ約廿台の大部隊で小名濱小學校講堂及び演武場に宿舍にあて自動車の修理工場まで急設し盛夏の山野を蹴つて此壯烈な演習を擧行する筈である。

千圓で建坪二百坪の事務所を新築すべく目下設計中であるが着工は八月初旬の豫定であると

漁業法違反　江名町

大字中之作一七吉田義太氏所有明神丸は去月廿五日多賀郡大津町東南の禁止區域内で機船底曳網漁撈中を茨城縣監視船に發見され機船底曳漁業法違反で告發さる

松ケ岡公園に
自慢のつゝぢと櫻宣傳
平町名所案内

平町ではこの程松ヶ岡公園道旅客の旅情を百パーセント慰める等の便宜を與へて地内下堀前の斜面並に池之端附近二ヶ所計三ヶ所に名のるため、鐵道側でも好意所案内の美麗な立看板を樹を持つてをり何分の援助あてる計画をたてたが、之は最近頓に名を知られて來た實現は近き模樣で大平市建同公園の櫻花を廣く宣傳する設を前に好個の宣傳として一般かうも喜ばれてゐる。

磐城水産會社
建築計画
町營魚市場も移轉

磐城水産工業會社では近年業務擴張により現在の建物では狹隘を感ずるに至つたきに躑躅を數百株分植して來年は美事に咲き亂れ、鐵のので築港埋立地内に工費六

浮き世さまく
はつ夏の訪れは
桃色世界にも異變來

湯本町大字湯本字三函カフエーカスケードこと直井ステ方女給田村郡船引町生れ鈴木イク(三五)は去月廿三日主家より前借三十圓を借平町長橋町から荷物を持つて來ると稱して、同家から小沼德一を連れて平町に向ふ途中、内郷村字小島山形屋こと林さと方で一寸咽喉が渇いたとサイダーを呑むうち、付馬をまいてその儘逃走中だつたが本十日平署員に逮捕された。

× × ×

江名町大字中之作料理業新月方酌婦、東京市淺草生れ潜り周旋業千葉春喜(三五)は武井ウメ(三五)は去る三日義兄と稱する東京市下谷區上根岸和田博(三一)が主人方を訪れて、ウメの實父が滿洲へ行くので一目會はして呉れと主人に賴み、同家主人の厚意で上京したがその後言を左右して歸宅せず、前借金四百廿五圓を百五十圓去る四月中東京市外西多摩郡菅生村三〇四惣助妹小山連れ出さんとしたが同家にまけろと無理を言つた外現金も支拂はず明らかに前借詐欺、踏倒と見られるため抱主から平署へ本十日願ひ出た。

× × ×

内郷村大字宮字金坂料理業

稀代の婦女誘拐犯
小名濱生れの吸血鬼
十數名を賣飛ばして逮捕さる

小名濱町生れ當時住所不定かつさん(三五)をカフエーか月方酌婦、東京市淺草生れ潜り周旋業千葉春喜(三五)は武井ウメ(三五)は去る三日義兄と稱する東京市下谷區上根岸和田博(三一)が主人方を訪れて、ウメの實父が滿洲へ行くので一目會はして呉れと主人に賴み、同家主人の厚意で上京したがその後言を左右して歸宅せず、前借金四百廿五圓を百五十圓郡菅生村三〇四惣助妹小山連れ出さんとしたが同家にまけろと無理を言つた外現金も支拂はず明らかに前借詐欺、踏倒と見られるため抱主から平署へ本十日願ひ出た。

× × ×

内郷村大字宮字金坂料理業

教育會の
功勞者表彰
郡教育部會で

尚同會社内に競馬をぶつ町營魚市場も移轉の筈である

旣報　石城教育部會總集會は本第一校講堂で七日午前九時から開催、教育功勞者として五ヶ年間無缺勤錦校（鵜沼忠晃）氏外廿名並に左記の如く廿五ヶ年間勤續者を表彰した

廿五ヶ年勤續（小名濱業。高木忠三（内郷第二）堀一郎（大野尋）高鈴木龜之助（平第三）赤持千里（神谷）永山ソヨ

徵兵檢査
郡下日割

本年度石城郡下徵兵檢査は平町第一小學校に於て行はれるが、壯丁總數は千六百名で日割並に各町村壯丁數左の通り

△十日　下小川組合四五　平窪三三、神谷四三
△十一日　大野四六、四倉七一、△十二日　豊間五五、赤井五八、△十三日　三阪組合四八、鹿島二三、草野四八　△十四日　川前二八、内郷九一十五日　永戸組合五四、高久三五、飯野四一、△十六日　内郷（入寄留）一二一　△十七日　平一四五　△十八日　夏井五三、平（入寄留）五五十九日　湯本一一八　△廿一日江名五六、大浦五五　△廿二日　玉川三六磐崎七三　△廿三日　小名濱一〇六　△廿四日好間一〇七　△廿六日上遠野五四　田人組合三八、川部三八　△廿七日泉五六、渡邊二九、錦五〇、△廿八日　入遠野六一、勿來七四　△廿九日山田三七、植田八四、

新綠薫る富ヶ浦
忠魂碑竣工近し
錦上更に花を添える偉觀

小名濱町在郷軍人分會幹部を增加し萬全を期すことゝが町民の支援の下に目下建設中の忠魂碑は九分通り工なり、竣工式も七月上旬まで繰延べとなつた

尚竣工の曉は大都會のそれにも劣らぬ素晴しいものであると

非常時は報德を以て打開せよ
（三）

T生

それならば財貨發生の根本は一体何か、確かに財貨の得らるゝ方法は何んであるか、それは勤勞の一事である、これが一番確實な方法である、働けば其の結果として必ずものが生産され生産されたものは財貨に換へられる事は出來る、これは誰でも行へば必ず得らるる當然たる事實である、二宮先生は

非無財無勤故也
無財實有無勤行。
在勤行則在財實
有財實國穩。

と云はれて財貨の根本を勤行にあると說かれてゐるされば世の全ての人達が此の道理を把握して勤行すれば現下餓浮途に横はらんとする經濟不況打開は容易な事程分度生活をすればよいのと信ずるのであるが、各地には此の働くべき精神的の破綻にある事を痛感するものである、勤行無きは勤心無きなりである、而して又例ひ何程の財實を得ても生活の上に引締りが無ければ得ざると同等である、收支は正しい計畫の上に立脚せねばならない、隨分に金儲けはしても一向に生活が樂にならない者が世に少なしとせない、これは所謂筒抜け生活だからである、矢張其處に分度生活が必須となる所以である、世の大方は『成に於ては各方面豊かで越味面非常に溫情味豊かで趣味なる』と信ずるのであるが、各地には斯く迄に稱へても更に其の實行がなく行き當りばつたりな暮しである、百圓か直ちに筒抜けで只一時風船玉の如く膨脹するに過ぎない、この行き方では個人々々の生活は何時になつても善くなる道理はない、其の日暮しのルンペンの生活と大差はない。

× × ×

兄弟子からかつ拐ひ
上京後逮捕さる
末恐ろしい少年大工徒弟

湯本町大字湯本三函大工職小井戸庄吉方徒弟、磐崎村大字湯長谷字長倉高田三男（四）假名は去る六日午後一時頃同家職人龜岡德雄所有の現金二十余圓入れの墓口を窃取、同日午後二時湯本發で上京した處を逮捕されたが、末恐しい少年である

小名濱校研究教授

小名濱小學校では昨九日午後二時より四年四組擔任鈴木訓導の研究教授を行つて批評會を開いた

飛んだ納稅組合長
組合員から騙る
三回目で
自殺の遺書
酌婦行方不明

小名濱町下町大和家會我と方酌婦栃木縣芳賀郡久下田村越方次郎　養女藤本なほ(三一)は去る五日午後十一時半頃自殺する旨の遺書を殘し行方をくらましたが同人は去月十九日同家に前借三百圓で抱いられて翌日廿日午後二時より四年四組擔任鈴木訓導の研究教授を行つて批評會を開いた

貯金通帳を盜み出し
酒食に費消

飯野村大字南白土字在宿二〇農江尻繁雄(八)假名は昭和九年四月以來祖父保雄名義の郵便貯金通帳を持ち出し、平町三丁目圭玉堂で祖父の印鑑を僞造し、平局より昨年四月頃まで前後數回に亘つて四十三圓余を引出し酒食に費消したこと發覺平署に八日檢擧されたが他に去る四月五日同村小學校庭で、同村山野邊壽勝所有の風呂敷包辨當並にバット入を窃取したこと自白した

植田町通信

今回の異動により榮轉を以て着任せられた植田署長久和健一氏は過日平檢事局を初め平警察署、小名濱泉の駐在所を挨拶旁々歷訪した久和署長は一見した處、實に骨格たくましき武道型の人、勿論縣下署長としては屈指の柔劍道の達人と聞く

裁判便り
宮崎チヨ

對山田政好に關する事件の公判は今朝十日の處調査の

兄弟子からかつ拐ひ
上京後逮捕さる
末恐ろしい少年大工徒弟

湯本町大字湯本三函大工職小井戸庄吉方徒弟、磐崎村大字湯長谷字長倉高田三男（四）假名は去る六日午後一時頃同家職人龜岡德雄所有の現金二十余圓入れの墓口を窃取、同日午後二時湯本發で上京した處を逮捕されたが、末恐しい少年である

小名濱校研究教授

小名濱小學校では昨九日午後二時より四年四組擔任鈴木訓導の研究教授を行つて批評會を開いた

豆ニュース

石城中堅農民女子部の現地講習は來る廿日泉村で行はれる

× × ×

平第二小學校海野訓導は九日午前十時から一時間五年生を好間川畔に引卒理科の實地教授を行つた

× × ×

磐中大井川、平商佐藤の両配屬將校は來る十九日午前九時から双中に開かれる濱三郡中等學校配屬將校協議會に出席すると

× × ×

平商二年生約百名は九日佐藤配屬將校及び麻原教官指導の下に好間村愛谷方面で野外教練を行つた

濱だより

六月九日
小名濱魚市場調査

魚名	獲高	單價
小目	一〇貫	二、〇〇—二、二〇
大タイ	一〇〇貫	二、四〇
小タイ	三〇貫	二、三〇—二、五〇
ノドグロ	二〇貫	二、五—一、六〇
スズキ	一〇貫	二、二〇
ガラ	三〇貫	一、五— 一、八〇
大タラ	一〇〇貫	一、三五
タコ	一五〇貫	一、四〇— 一、四五
鮟	五〇〇〇ケ	一、五— 一、六〇
アイナ	三〇貫	一、〇〇

◇天氣豫報◇

今晩　北ノ風夕立模樣アリ
明日　北東ノ風風曇時ニ晴

氣壓＝七百六十〇粍三

特報
出漁鰹漁船無電放送漁況
本縣船沖合漁況（九日）

船名	漁場	水溫	漁獲物	記事
榮福丸	トリ島沖東南五浬	廿二度	三〇〇〇尾	

沖合一般況漁
最多獲船　最小獲船

田代丸	野島沖南々東二浬	二度五分	七千尾
三重丸	トリ島沖南々北百浬	十九度	六〇〇尾

懸賞募集

一、日本で始めて時計の出來たのは何時頃ですか
二、正確な時計店は何處ですか
三、當店の看板の時計は何時を示して居りますか

景品

一等　高級置時計一ケ　三名
二等　高級萬年筆一本　五名
三等　ハンカチーフ一枚　二十名

〆切　六月七日ヨリ十七日マデ
發表
六月二十五日　六日　常磐新聞紙上

◆官製はがきにて御應募下さい　賞品はクヂビキにて差上ます、住所氏名をはつきり書いて下さい。

小名濱町本通り
松原時計店

論叢

數睨みで見た 昭和人絹會社

幾多の紛糾の後終に抗爭の波を押し切つて設立した昭和人絹會社に、その近傍の町村は地方民を潤す事甚大なりと、期待する所多かつた事だらうと思はれる。然るに、過日祝融氏に見舞はれ、さしも縣下一を誇る大工場も瞬間にして烏有に歸した事は未だ讀者の耳に新しい事だらう。

莫大なる損害を受け、復興の見込なしとか、將又帝都の大財閥の援助を受け本格的な工場建築の運びとなるとか、噂はとり〳〵であるが、いづれにせよ折角あれ迄の運びとなつた工場を全く放棄する事も出來ない事だらうし、復興するものと吾々は豫想して、今後の昭和人絹會社に對して要求する所のものを明記して置かう。

抑々人絹會社設立當初、土地買收問題には可成の紛糾は免れ得ぬものだらう位は會社側も認識してゐた樣子であつた。それが案外、地方の有力者である某氏の斡旋で實に易々と解決し、愈々工事設置の運びとなつたものである。會社側から言へば實に〃順風に帆を掛ける〃とも言つた調子で內心ホク〳〵であつたと想像するに難くない。然るに、工場設立反對の烽火は隣縣の錦工場の姉妹會社である高萩工場設置問題から端を發したものである。高萩及びその近傍の町村では早くから人絹を晒す汚水が、農作物及び魚族に對して如何に害毒であるかを詳細に探知し、大津平潟の沿岸民の如きは吾々の生活戰線を脅すものであるとの見地から結束して工場設置に、猛烈な反對し初めたものであつた。

之に刺戟されてか、錦村及びその近傍の町村でも初めて周章狼狽、人絹工場に對する認識を改め東西呼應して除々に反對し初めたものであつた。然るに既に時遲し、反對の聲が擧り初めた時は工事も半ば乘んとする時で、如何樣にも手の施す術がなく共手傍觀の止むなきに至つたものであつた。

片方、高萩及びその沿岸の町村の反對熱は日に日に激化し不穩なる空氣が漲り高萩及びその沿岸民は結束し縣廳に出向いての陳情に、縣廳も全く當惑なし、工場設置に一頓坐を來すかと一時は危ぶまれもしたが、縣も種々なる鎭撫策を執り結局は地方沿岸に對して毫も損害を掛けざる事、萬一損害を及ぼす樣な場合には相當な倍償金を支拂ふ事。

爐過水も極力無害なものにする樣な策をとる事等々、高萩及びその近傍の町村に對して、有利な條件をつけてより以上粉爭する事なく事の落着を見た譯である。

片方、錦村及びその近傍の町村の反對熱は之に伴つて漸く鎭靜し何等の條件なしにあの工場の設置を見たわけである。實に前者は用意周倒な賢明な策と言ふ可く後者は人絹工場に對して實に不用意な、そして又認識不足とも言ふ可きであらう。（この項續く）

小說

中篇小說

第二の抱擁【7】

横山しの夫

病魔

何氣なく一郎と別れては來たものゝ、さてこの寒空にあと二時間半もの永い時間を何處で費やそうと思案した。

あれからこれへと、こんからがつた思索が頭の中に往來してきても、それをどうまとめうと纏めて良いのか重男には全く統一性が失はれてゐた唯譯もなく歩き續けてゐた彼は、氣が付いた時はいつか永代橋の中程にたゝずんでゐた。

雪を含む寒風に晒されていに擴がつて來て泣き出したいような氣持にさへなるのだつた。

鬱憤のやり場もなく、呆然として待つ二時間余は全く長い時間だつた、待たれる身より待つ身になるなと、と思つたりした。

× × ×

一郎の斡旋で、京橋の或る會社へ入社の手續きを濟ましまして、バンにだけは安心するのだけは何うした譯です、次には僕のリーベのゐる末廣あたりにお願して置きます

（末廣ファン）

震ひおのゝきながら眺める隅田の流れは、唄や詩に依つて表現され、故郷で間接に見聞した情緒は、今の彼にとつては、少しも嬉しいものでも懷かしいものでもなかつた、こうして見ず知らずの異郷の地で一人ぼつちになつて考へ込んでゐると、なぜ俺はあの靜かな平和な故郷と、慈愛深い母を殘し、こんな不愉快な東京などへ出て來たのかと今更自分の不甲斐なさが、つく〳〵と悔ひられてならなかつた、あんな女と、なぜあの時汚れた交渉をし合つたかと、馬鹿らしさが胸一ぱいに擴がつて來て泣き出したいような氣持にさへなるのだつた。

鬱憤のやり場もなく、呆然として待つ二時間余は全く長い時間だつた、待たれる身より待つ身になるなと、と思つたりした。

× × ×

一郎の斡旋で、京橋の或る會社へ入社の手續きを濟ましまして、バンにだけは安心するのだけは何うした譯です、次には僕のリーベのゐる末廣あたりにお願して置きます

（末廣ファン）

亂れ飛ぶ 與太

投稿歡迎

▲永崎の作山さん、第二號では世間にザラにあることで珍らしくないが、最近第三號を小名濱町米野邊に作つたとか大分町の噂に上つてゐる、鰡景氣で造船計画もいゝでせうが後宮三千の支那の故實に習はぬやう御注意まで　（鹿笛生）

▲自稱模範青年樣、昨日の與太欄で拜見しました、妾の名は千枝子よどうぞよろしう、コーヒー一杯だつて結好惡くなんてありませんから、是非いらして下さい呑めない口に無理に酒をすゝめる野暮はしませんわ、

（ホーライ千枝子）

▲小名濱町が生んだ偉大なる作詞家流音堂主人よ、君の特異の頭腦により躍進小名濱町を表現する歌詞をグン〳〵此の欄で發表して下さ

（愛讀者）

▲貴紙紅燈だよりの一節、泣けよ彼女よ紅燈の悲に小名濱女人有情記のうわさの逆說云々が、若い僕等には非常に興味を持つて拜見したが、安兵衛だけで中絶してゐるのは何うした譯です、次には僕のリーベのゐる末廣あたりにお願して置きます

（末廣ファン）

文藝

俳句

夕立や散らしかけたる竹の皮　曉鳥

馬の尾を島田にゆふや五月雨　柳雪

柴舟にこがれてとまる螢かな　其角

童謠

かくれんぼ　古川生

おいらの好きな桑畑
今日も青い光りが
さしてゐる
みんなと、かくれんぼ
する時は
桑の葉影でしよんぼりと
鬼のくるのを待つてゐる
鬼に追われて畫さがり
かみなりゴロ〳〵
こわかない
桑原くわばら
桑のかげ

原稿募集

俳句、短歌、童謠詩、コント、隨筆小說、紀行文

右の原稿を募集します題は隨意ですが創作に限り飜譯は採りません但し紙上匿名は自由れな共原稿の終りに住所氏名を明記すること、無名原稿は掲載致しません種類を冠頭に朱記する事

選者　編輯局選

宛名　平町南町二一番地　常磐新聞社　編輯局文藝部

新設電話披露

電話百四十二番　ダッチシボレー フォード部分品附屬品　植田安全商會　常磐線植田町

電話百三十八番　自動車修繕並塗替 ボデー製作　栗田工場　常磐線植田驛前

電話百三十九番　鮮魚仕出し 委託問屋　魚庄　植田本町通り

電話百四十三番　粉蒟 運輸業　丸植田支店　植田町八幡下

電話百三十七番　御料理 待合　末よし　植田町本町

電話百四十六番　手打うどん きそば　相馬屋　植田町金畑

電話百四十七番　菅野屋米穀店　植田町

電話百四十一番　鮮魚 仕出し　岩間屋　植田町本町

土木建築請負　鐵道省指定　山形組　山形末吉　出張所　石城郡勿來町關田　本店東京京橋區槇町三丁目一番地ノ十　電話京橋（一六八八）番（六八八〇）番

機械新設　體溫計無料檢査　あなたの體溫計は正確ですか？　目に見えぬ狂ひを見せる檢度器　毎月十日は無料で檢定して差上げます　日本酸素株式會社　吸入用酸素　酸素吸入器　特約指定販賣店　福島縣小名濱町　商工省指定計量器販賣店　資生堂　電話一四七番

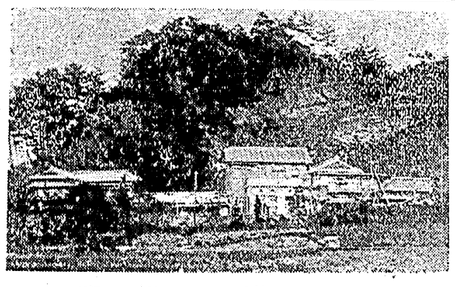
何とも言ひない良い味を見せる　末廣の魅力　洗練された女給さんのサービス

御旅館 御料理　吉田屋本館別館　小名濱町　電話十四番

外科 內科 花柳病科 レントゲン科　入院隨意　草野醫院　小名濱町中島　電話一七三番

撞球　ビリヤード　金波　小名濱町

藥……衛生材料　寶屋藥舗　小名濱町古港　電話三十九番



明朗小瀧へ!!!
◎宿泊　1.50　2.00　2.50
（御滯在は上記料金にて中食料を含ませます）
◎日歸浴席料　.20
◎自炊料　.50—.80（入場料室料夜具料一切）
◎料理一定食.80　1.00　1.50
（其の他一品料理—洋食）
◎湯効　神經痛●リウマチス●胃腸病●痔疾　婦人病●逆上●中風●脂肪病
（內務省東京衛生試驗所檢定）
◎諸設備　どうきゆう臺●高級ラヂオ●大廣間　讀書室●近代的浴場と洗面所●水洗式便所器具小動物園●御子樣運動
◎名物　川魚料理（うなぎ●鯉）蜂蜜羊羹　いちご羊羹
電話(小名濱)103番　御旅館 御自炊　瀧の湯

耳鼻咽喉科專門　高柳耳鼻咽喉科醫院　院長 醫學博士 高柳博明　入院應需　平町驛前（電話三三六番）

人物 風景 御寫眞　鈴木寫眞館　新舊　小名濱町中島郵便局東隣　小名濱町中島通り

▼移轉御披露▲

看護婦派出婦のお需めに應じます　平看護婦會　電話三〇七番

平町一丁目　和久井屋　電四〇五番

漆器と家具は

カフエー　みのり　すが〳〵しい新春の山野　明朗な初夏の太陽！　清新滿ちる『みのり』　共に皆樣のお心を和らげます

祝弔　造花を御求めになる時は是非技術有る新らしき品を御買求め願ひます　造花問屋　平四丁目局通り　電話五五〇番　造花博士　花信